

男派…社長とか校長とか、社会的地位のある人はほとんど男の人だ。

女派…でも、世の中はレディースファーストだよ。ちかん予防のために女性専用車両もある。バイクングだって、男の人より500円くらい安いから得だ。

男派…男の人は筋肉があつて力がある。野球やサッカーは、やっぱり男の方がうまいと思う。

女派…力なんて、たいした問題じゃない。マラソンの高橋尚子選手みたいに、すごい人だっている。運動している女の人と、していない男の人はそんなに変わらないと思う。



男派…男の子は騒いでいても、元気がいいと言われるだけなのに、女の子だとおてんばと言われる。クラスの子7人に聞いたら、5人の子が「女の子らしくしなさい」と言われたことがあると答えた。やっぱり男の子の方がいいよ。

女派…クラスの子26人に「男の子は騒いでいても元気、女の子だとおてんばと言われるのをどう思うか」とアンケートしたら、21人が「男の子だからって、元気で済まされないと答えている。だから、関係ないと思う。」

女派…女の人はズボンもスカートもはけるし、服装もいろいろ。お化粧もできて、いろんなおしゃれが楽しめる。

男派…男の人だって、ピアスをしたり、髪を染めたりしておしゃれができるよ。それに、女の子のように洋服や化粧品にたくさんお金を使うのは、もったいないと思う。

＊この違いは、なぜ？

ここで、ディベートの様子を見ていた前田校長が子どもたちに「市内の小中学校の校長先生と教

頭先生を合わせると、全部で40人います。そのうち、女性はたったの3人。どうしてこんなに違うと思いますか。」と質問しました。子どもたちからは、

「女の方が頭がいいから、国語とか音楽とか生徒に教えるのを女の人がやって、校長先生は男の人がやればいいと思うから。」

「女の人は結婚や出産で仕事をやめてしまったり、子育てで仕事ができない時期があるから。」

「昔から、男の人はえらい」という風習があるって、お母さんから聞いたことがある。」

答えは一つではありません。子どもたちが言ったこと以外の要因もあると考えられますが、皆さんはどうしてだと思いますか？

＊男も女も、どっちも得!

ディベートの後、担任の前田先生から「みんなの本音は、どっちが得だと思う？」と質問。クラスの3分の2以上の子が「男の子も女の子も、それぞれに得なことがある」という意見でした。

戒田先生は、「女だから得とか、男だから損というのではなく、自

分はこうありたいという考え方ももってほしい。」と締めくくりました。

＊女の役割・男の役割

今回のディベートを振り返ってみると、子どもたちの視点の鋭さと面白さに感心しました。そして、「家事や育児は女の人がやるもの」「仕事で偉くなるのは男の人」というイメージが、すでに出来上がっていることもわかりました。

家庭や職場で、「これは女性、あれは男性」と必要以上に役割を決めつけてしまうと、お互いの良さが十分にいかしきれません。男女が協力し合って生活できる社会をみんなで作りたいものです。

